訪問歯科診療ニュース
「カムカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

歯から元気！ カムカム通信 噛む噛む

2004.02 VOL. 11

SOS DENTIST
発行／SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒103-0024
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F
TEL：03(5623)1118
FAX：03(5623)0650

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで　0120-099-505

COME COME（かむかむ）倶楽部（くらぶ）

訪問理容・美容サービスを展開する、「髪や」株式会社ジェイ・アンド・シー（大阪市）では、高齢者福祉のさらなる充実をめざし、当協会と提携して、在宅検診の普及の活動を行っています。

訪問‘歯科’と‘理容’で介護・福祉の協力ネットワークを築く

「髪や」株式会社ジェイ・アンド・シー
福祉推進本部マネージャー　桑岡　寿恵さん（右）
管理本部マネージャー　牧野　早苗さん（中央）
企画開発部マネージャー　吉末　栄子さん（左）

私たち、「髪や」ジェイ・アンド・シーは、1991年より福祉施設・医療施設・在宅への訪問理容・美容のサービスを始め、ほかにも福祉機器の販売や介護用品のリースなどを行っています。2002年からは、日本訪問歯科協会と提携を結び、歯科の相談のサポートも始めました。

以前は、他のサービスで利用者様とお話しているときに、入れ歯が合っていなかったり、はずれたりしていても、あまり気にしてはいませんでした。しかし今では、スタッフ一同、声かけをし、歯科受診を勧めるようになりました。そして、歯医者さんに相談したいことがあっても、自分で歯科医院や保健センターに行くことができずにあきらめていた方が多かったことも知りました。

往診を受けた利用者様は、「定期的に同じ先生が来てくれるので、安心して食事ができるようになった」、「歯科診療車では歯医者さんと同じ治療が受けられるし、専門チェアがあるので、リラックスして治療が受けられる」と喜んでくださっています。皆さん、以前に比べて、笑顔が増え、よくお話されるようになりました。

また、ご家族の方からも、「これまではパートを休んで歯医者さんに連れて行っていたけれど、決まった時間に先生に来ていただけるので、予定が立てやすくなった」、「週1回、先生が家に来てくれることを楽しみにしていて、家族のいうことはあまり聞かないのに、先生の言うことはきっちり守っている」などの声が寄せられています。

日本訪問歯科協会と一緒に活動することで、充実したサービスを提供することができるようになり、利用者様、家族様とのパイプがより一層深くなりました。おかげさまで訪問理容のリピーターも増えてきています。

最近、口腔ケアの重要性がよく聞かれるようになり、往診を受けられる利用者様も多くなってきています。今後も、福祉・介護のネットワークとして、歯科と訪問理容・美容を連携していきたいと思います。

今日から始める、簡単お口のケア！ ワンポイント アドバイス

歯みがき＜ブラッシング＞

食後は食べかすが溜まり、放っておくと口腔内細菌が増加します。誤嚥性肺炎を防ぐためにも、口腔内の清掃は毎食後、行う必要があります。歯ブラシでのブラッシングがもっとも効果的で、歯や粘膜に張り付いた汚れを機械的に除去できます。

自分で歯みがきすることはリハビリになり、QOLの向上にも役立ちます。片麻痺などで不自由な場合は、柄の部分が握りやすくなるよう工夫します。

■ブラッシングのコツ

①歯磨き粉はなるべく少量に。歯ブラシの毛先を歯と歯茎の境目、歯と歯の間におき、毛先を歯の面に対して約90度の角度で当てます。

②軽く力を加えながら、歯ブラシを小刻みに動かします。

■体位

誤嚥しないこと（安全性）と、本人や介護者が疲れないこと（安楽性）が重要です。座位、またはファーラー位（上半身及び頭部を45度に起こした半座位）が安全ですが、あごが上がると誤嚥しやすくなるので、本人が介護者を見上げることのないよう注意してください。